



Personal MBA

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

企業とは従業員の総意である。株主の総意ではないのである。これらは企業の現実を創造するのは社員であるからである。

時代変化を与えるのは企業の創造力である。これが今日の社会転換である。

デジタル化は、論理的にその効率性を追求するとき、その正しい手段として企業がこれを受け入れることは必要である。それらはシンプル化における新しい企業環境を提案できるのである。

技術における先端性は時代を切り拓くことができるのである。またシステム開発における先端性は時代との対等性を唯一可能とするものである。

これらは今日の新たな技術システムにおける市場の現実へ、企業がその対等性を要求するとき、自社ソフト資産において、現実との対等性が唯一の条件として時代への参加を与えるものである。

またこれら基準は市場における先端性なのである。

これら企業経営における自社製品基準の完全な転換は唯一未来への参加の条件なのである。

これらは知的産業への転換がすべての産業において存在することを理解すべきであり、これらが既存産業の完全な自己転換を今日与えているのである。

それらにおいて先端性への到達が現実参加の唯一の条件であり、それらは底辺から先端性までその理解の蓄積を飛躍させ、新しい基準における企業展開を要求されるものである。

これらは新しい生産性と効率性における企業経営を有するとき、新しい利益基準における企業経営という新しい現実に対峙するのである。

これらが既存現実の完全な転換なのであり、グローバルスタンダードという新しい現実なのである。

